

令和4年度第2回
北九州市上下水道事業検討会

北九州市上下水道事業
中期経営計画 2025 の
進捗管理
(令和3年度決算)

～ 目 次 ～

1 令和3年度 事業計画の進捗管理	1 ページ
(1) 令和3年度の主要事業	1 ページ
(2) 主要事業の令和3年度の目標 及び 取組結果	2 ページ
(3) 中期経営計画における41事業110目標の達成状況	4 ページ
2 令和3年度 財政計画の進捗管理	18 ページ
(1) 水道事業	19 ページ
(2) 水道用水供給事業	22 ページ
(3) 工業用水道事業	25 ページ
(4) 下水道事業	28 ページ

1 令和3年度 事業計画の進捗管理

(1) 令和3年度の主要事業

「上下水道事業基本計画 2030 (R3～R12)」及び「上下水道事業中期経営計画 2025 (R3～R7)」に基づき、計画の初年度となる令和3年度は、以下の項目を主要事業に掲げ、上下水道施設の強靱化や環境負荷の低減などに取り組んだ。

【主要事業（上下水道事業中期経営計画 2025 の体系図）】

将来像	重点施策	実施事業	将来像	重点施策	実施事業	
1	市民生活を支える強靱な上下水道をつくる	1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新	4	国内外へ貢献していく	4-1 上下水道事業の発展的広域化	
		1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新			4-1-1 多様な広域連携の推進	
		1-1-2 上下水道施設の規模の最適化			4-1-2 外郭団体等との連携強化	
		1-2 豪雨対策の拡充・強化			4-2 本市の技術力・経験を生かした国際貢献	
		1-2-1 浸水被害の最小化			4-2-1 上下水道技術の国際協力	
		1-2-2 上下水道施設の豪雨対策			4-2-2 海外水ビジネスの推進・支援	
		1-3 震災対策の拡充・強化			5 お客さまが求めるものをかたちにする	
		1-3-1 上下水道施設の耐震化			5-1 お客さまの理解と信頼を得る	
		1-3-2 バックアップ機能の強化			5-1-1 効果的な広報・広聴活動の推進	
		1-4 危機管理体制の充実・強化			5-1-2 小学生を対象とした上下水道に関する情報発信	
		1-4-1 事故対応能力の向上			5-2 お客さま満足度の向上	
		1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化			5-2-1 営業業務の見直し	
		1-4-3 停電対策			5-2-2 料金の支払や各種手続方法の拡充	
		1-4-4 災害時における機能確保の推進			5-2-3 上下水道事業に関するアンケート調査の実施と施策への反映	
		1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実			6 培われた高い技術を未来へつなぐ	
		2			いつでも安心して飲める安全な水を届ける	6-1 職員の育成と活用
		2-1 水源を守るための取組			6-1-1 上下水道技術の継承・人材の育成	
		2-1-1 水源林の保全			6-1-2 AI等を活用した技術の蓄積・継承の研究	
		2-1-2 遠賀川の水質保全			6-1-3 上下水道技術の国際協力 (再掲)	
		2-2 取水から蛇口までの水質管理			6-2 民間事業者等との連携推進	
2-2-1 安全な水対策	6-2-1 民間事業者等との連携推進					
2-2-2 水源や浄水場を有効に活用した水の供給	6-2-2 産学官連携による研究開発の推進					
2-2-3 直結式給水の普及促進や小規模貯水槽水道の管理指導	7 健全な経営を行う					
2-2-4 水質管理体制の充実	7-1 効率的・計画的な事業運営					
3	環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する	7-1-1 上下水道施設の規模の最適化 (再掲)				
3-1 環境負荷に配慮した事業の推進	7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新 (再掲)					
3-1-1 合流式下水道の改善推進	7-1-3 民間事業者等との連携推進 (再掲)					
3-1-2 水質監視強化	7-1-4 AIやICTを活用した業務の効率化					
3-1-3 再生可能エネルギーの活用	7-2 多様な収入の確保					
3-1-4 省エネルギーの推進	7-2-1 資産の有効活用					
3-1-5 資源の有効利用	7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策					
3-2 環境負荷低減に向けた研究の推進	7-2-3 多様な広域連携の推進 (再掲)					
3-2-1 ウォータープラザ北九州の有効活用	7-3 経営基盤強化に向けた検討					
	7-3-1 料金体系のあり方の検討					
	7-3-2 外部検討会の開催					

※青太字：主要事業

(2) 主要事業の令和3年度の目標 及び 取組結果

将来像	重点施策	実施事業	会計	項目	目標	取組結果	達成状況
1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる							
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新							
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新							
	上水	浄水施設の長寿命化			1 箇所着手	1 箇所着手	a
	上水	導送水管更新			1.8km	1.5km	b
	上水	配水管更新			38.5km	31.6km	b
	工業	工業用水道管路の更新			1.3km	1.2km	b
	下水	浄化センター・ポンプ場設備の計画的な改築・更新			24 設備	24 設備	a
	下水	下水道管渠の改築・更新			23km	13.5km	b
1-1-2 上下水道施設の規模の最適化							
	下水	皇后崎・北湊処理区の再編		着手 (下水道管新設実施設計)	着手 (下水道管新設実施設計)		a
	下水	皇后崎浄化センターの再構築		実施 (最初沈殿池の改築・更新)	実施 (最初沈殿池の改築・更新)		a
	下水	中川通ポンプ場の移転改築		実施 (都市計画決定・事業計画変更)	実施 (都市計画決定・事業計画変更)		a
1-2 豪雨対策の拡充・強化							
1-2-1 浸水被害の最小化							
	下水	重点整備地区 (16 地区) のうち 9 地区の整備		実施 (2 地区整備)	実施 (2 地区整備)		a
1-3 震災対策の拡充・強化							
1-3-1 上下水道施設の耐震化							
	上水	浄水場耐震化率			59.2%	59.2%	a
	上水	配水池の耐震化率			56.0%	56.0%	a
	上水	基幹管路の耐震適合率			48.7%	50.4%	a
	上水	広域避難地等に至る配水管の耐震化			2 箇所完了 (累計 19 箇所)	4 箇所完了 (累計 21 箇所)	a
	下水	重要な 15 ポンプ場の耐震化率			20.0%	20.0%	a
	下水	重要な管渠の耐震化率			47.8%	48.4%	a
1-3-2 バックアップ機能の強化							
	上水	八重洲分岐～城野分岐 送水管 2 条化			0.2km 整備	0.2km 整備	a
	上水	井手浦系配水本管のループ化			0.1km 整備	0.1km 整備	a
1-4 危機管理体制の充実・強化							
1-4-3 停電対策							
	上水	非常用発電設備整備			3 箇所 完了	3 箇所 着手	b

将来像	重点施策	実施事業	会計	項目	目標	取組結果	達成状況
				1-4-4 災害時における機能確保の推進			
		上水		応急給水施設整備	応急給水計画策定	応急給水計画策定	a
3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する							
3-1 環境負荷に配慮した事業の推進							
3-1-1 合流式下水道の改善推進							
		下水		合流改善達成率	84%	84%	a
3-1-4 省エネルギーの推進							
		上水		電力使用量	過去5年平均以下	過去5年平均より微増	b
		上水		二酸化炭素排出量削減 (H17年度比)	2,600t/年	2,600t/年	a
		下水		ポンプ場照明設備のLED化 (累計)	1箇所 (累計2箇所)	1箇所 (累計2箇所)	a
		下水		二酸化炭素排出量削減	5t/年 (R2年度比)	6t/年 (R2年度比)	a
3-1-5 資源の有効利用							
		上水		廃棄水道メーターの再資源化	100%	100%	a
4 国内外へ貢献していく							
4-1 上下水道事業の発展的広域化							
4-1-1 多様な広域連携の推進							
		共通		地区別勉強会、セミナー開催	1回以上	4回	a
4-1-2 外郭団体等との連携強化							
		共通		宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託	継続	継続	a
4-2 本市の技術力・経験を生かした国際貢献							
4-2-1 上下水道技術の国際協力							
		共通		研修員受入れ	380人	28人	d'
		共通		職員派遣	4人	4人	a
4-2-2 海外水ビジネスの推進・支援							
		共通		市が関与するビジネス案件数	6件	6件	a

【達成状況の判定目安】

- a : 大変良い状況にある (100%以上)
- b : 概ね良い状況にある (60%以上、100%未満)
- c : 概ね良い状況とまでは言えない (40%以上、60%未満)
- d : 不十分な状況にある (40%未満)

※新型コロナウイルス感染症の影響を受けて a 以外となった項目については、b'・c'・d'

(3) 中期経営計画における 41 事業 110 目標（再掲除く）の達成状況

評価内容		目標数	構成比
a	大変良い状況にある	85	77.3%
	概ね良い状況にある	19	17.3%
b	新型コロナウイルス感染症による影響分以外	16	14.5%
b'	新型コロナウイルス感染症による影響分	3	2.7%
	概ね良い状況とまでは言えない	0	0.0%
c	新型コロナウイルス感染症による影響分以外	0	0.0%
c'	新型コロナウイルス感染症による影響分	0	0.0%
	不十分な状況にある	6	5.5%
d	新型コロナウイルス感染症による影響分以外	0	0.0%
d'	新型コロナウイルス感染症による影響分	6	5.5%
合 計		110	100%

将来像ごとの内訳について

将来像	a	b	b'	d'
1 市民生活を支える強靱な 上下水道をつくる	39	8		1
2 いつでも安心して飲める 安全な水を届ける	9		1	1
3 環境負荷の低減を図り、 持続可能な社会に貢献する	18	3		1
4 国内外へ貢献していく	5			2
5 お客さまが求めるものを かたちにする	4	4		
6 培われた高い技術を 未来へつなぐ	4	1	1	1
7 健全な経営を行う	6		1	
合 計	85	16	3	6

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算		
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況
上水道事業										
1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる										
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新										
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新										
5年間の事業費(計画)				35,524百万円		7,431百万円	6,485百万円			
	浄水施設の 長寿命化	5箇所	R7	1箇所着手	1箇所着手	本城浄水場ろ過池の 長寿命化工事ほかに着手		a		
	配水池の長寿命化	9箇所	R7	2箇所実施	2箇所実施	大蔵配水池、皿山配水池長 寿命化工事実施 (畑第2、椎ノ木配水池劣化 診断実施)		a		
	マッピング システムの 機能強化	一元管理	R7	詳細検討 機能改良	詳細検討 機能改良	6項目台帳一元化に向けての 検討 工事管理機能・消火栓番号 表示機能 追加		a		
	導送水管更新	6.7km	R7	1.8km更新	1.5km更新	導水管更新 0.3km 送水管更新 1.2km		b		
	配水管更新	185km	R7	38.5km更新	31.6km更新	配水管更新 31.6km		b		
	漏水率	6.0%以下	R7	漏水率 6.6%以下	漏水率 6.09%	漏水調査 3,034km 配水管更新 31.6km		a		
1-1-2 上下水道施設の規模の最適化										
5年間の事業費(計画)				262百万円		12百万円	0百万円			
	配水池の統廃合 (尾倉)	尾倉配水池 廃止	R6	詳細設計	基本計画 策定中	尾倉及び黒川統廃合に向け た基本計画策定についての 委託発注		b		
	配水池の統廃合 (黒川)	工事実施	R7	基本設計				b		
	水需要予測及び 施設規模の検討	検討内容の中間 取りまとめ	R7	推進	推進	水需要予測・施設規模 の検討		a		
1-2 豪雨対策の拡充・強化										
1-2-2 上下水道施設の豪雨対策										
5年間の事業費(計画)				132百万円		12百万円	8百万円			
	豪雨対策施設整備	5箇所	R7	1箇所設計	1箇所着手 1箇所設計	山ノ神ポンプ場の減災・防 災工事及び本城浄水場浸水 対策設計		a		

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算		令和3年度 決算				
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況			
上水道事業				1-3 震災対策の拡充・強化									
				1-3-1 上下水道施設の耐震化									
				5年間の事業費(計画) 27,669百万円					6,154百万円		5,569百万円		
				浄水場耐震化率	59.2%	R7	59.2% (工事完了の R10で77.5%)	59.2%	関係機関と協議を実施	a			
				配水池の耐震化率	60.1%	R7	56.0%	56.0%	皿山配水池耐震化工事 小熊野第一配水池耐震診断	a			
				危険箇所整備	2箇所 (累計10箇所)	R5	1箇所整備 (累計9箇所)	1箇所着手 (累計9箇所 目着手)	現場踏査前の伐採及び 整地作業	a			
				基幹管路の耐震 適合率	51.6%	R7	48.7%	50.4%	導水管の耐震化 0.3km 送水管の耐震化 1.2km 配水本管の耐震化 0.4km	a			
				広域避難地等に 至る配水管の 耐震化	9箇所 (累計26箇所)	R7	2箇所完了 (累計19箇所)	4箇所完了 (累計21箇所)	配水管耐震化工事	a			
				1-3-2 バックアップ機能の強化									
				5年間の事業費(計画) 1,303百万円					259百万円		468百万円		
				八重洲分岐 ～城野分岐 送水管2条化	完了	R7	0.2km整備	0.2km整備	送水管整備工事	a			
				井手浦系配水本管 のループ化	完了	R7	0.1km整備	0.1km整備	配水本管整備	a			
				1-4 危機管理体制の充実・強化									
				1-4-1 事故対応能力の向上									
				5年間の事業費(計画) -					-		-		
				模擬事故訓練 (局全体)	1回	毎年	1回	1回	模擬事故訓練実施	a			
				模擬事故訓練 (水道部)	2回	毎年	2回	2回	模擬事故訓練実施	a			
危機管理研修 (水道部)	3回	毎年	3回	3回	危機管理研修実施	a							

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算			
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
上水道事業			1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化							
			5年間の事業費(計画)			-	-	-	-	-
			日本水道協会九州 地方支部間での 合同防災訓練	1回	毎年	1回	1回	合同防災訓練実施 (九州九都市参加)	a	
			日本水道協会九州 地方支部間での 情報伝達訓練	1回	毎年	1回	1回	情報伝達訓練実施 (九州九都市参加)	a	
			19大都市間での 情報伝達訓練	1回	毎年	1回	1回	情報伝達訓練実施 (19大都市参加)	a	
			1-4-3 停電対策							
			5年間の事業費(計画)			325百万円	199百万円	0百万円		
			非常用発電設備 整備	7箇所 (累計15箇所)	R7	3箇所 (累計11箇所)	3箇所着手	本城管理棟、本城第2 ポンプ棟、伊左座取水場 に非常用発電設備整備	b	
			1-4-4 災害時における機能確保の推進							
			5年間の事業費(計画)			176百万円	59百万円	20百万円		
			応急給水施設整備	6箇所	R7	応急給水 計画策定	応急給水 計画策定	運搬給水を基本とした 現計画の見直し	a	
			非常用給水袋備蓄	5万枚	毎年	5万枚維持	5万枚維持	使用実績に応じて必要数 を購入し、5万枚を維持	a	
			給水車運転資格 取得支援者数	25人	R7	5人	5人	平成19年度運転免許制度 改正に伴い、準中型免許 取得支援	a	
			2 いつでも安心して飲める安全な水を届ける							
			2-1 水源を守るための取組							
2-1-1 水源林の保全										
5年間の事業費(計画)			41百万円	8百万円	0百万円					
市民参加人数	360人以上	毎年	360人以上	0人	新型コロナウイルス感染症 の影響で、水源地域での植 樹・育樹活動未実施	d'				
2-1-2 遠賀川の水質保全										
5年間の事業費(計画)			48百万円	10百万円	7百万円					
遠賀川環境保全 活動団体への支援	40団体以上	毎年	40団体以上	38団体	住民団体等による遠賀川 流域の環境保全活動・ 普及啓発活動に対する支援	b'				
水質保全に向けた 関連協議会への 参加	2団体	毎年	2団体	2団体	遠賀川水系水環境保全・再 生推進協議会 及び 遠賀川 水系水道事業者連絡協議会 に参加	a				

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算			
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
上 水 道 事 業			2-2 取水から蛇口までの水質管理							
			2-2-1 安全な水対策							
			5年間の事業費(計画)			277百万円		0		0
			水安全計画の レビュー (見直し)	5件	毎年	5件	5件	各浄水場で1件	a	
			水処理の 調査・研究	1件以上	毎年	1件以上	1件	水道研究会発表レベルの案件として、本城浄水場高度処理技術(U-BCF)の検証についてブラッシュアップ	a	
			2-2-2 水源や浄水場を有効に活用した水の供給							
			5年間の事業費(計画)			-		-		-
			貯水状況に応じた 東西応援	実施	毎年	実施	実施	貯水量 多 ⇒東部：増、西部：減 貯水量 少 ⇒東部：減、西部：増	a	
			2-2-3 直結式給水の普及促進や小規模貯水槽水道の管理指導							
			5年間の事業費(計画)			130百万円		19百万円		3百万円
			小規模貯水槽水道 の文書指導、直結 式給水のPR	設置者全件 (約3,000件)	毎年	設置者全件 (約3,000件)	設置者全件 (2,500件)	貯水槽水道管理水準向上のため、設置者(全件)へ文書指導実施	a	
			2-2-4 水質管理体制の充実							
			5年間の事業費(計画)			142百万円		21百万円		18百万円
			水道GLPの 継続認定取得	継続取得	毎年	継続取得	継続取得	分析技術や精度管理の向上に努め、水道水の信頼性確保	a	
			外部精度管理結果 (良好判定) 取得	2項目以上	毎年	2項目以上	2項目	全ての項目において、良好判定取得	a	
			新たな検査項目 の設定、監視	5項目	毎年	5項目	11項目	11項目全てで目標値未滿	a	
			新たな情報 コンテンツの発信	2件	R7	調査・検討	2件	上下水道局キッズサイトへの水質実験動画(2件)の提供	a	
3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する										
3-1 環境負荷に配慮した事業の推進										
3-1-3 再生可能エネルギーの活用										
5年間の事業費(計画)			-		-		-			
再生可能 エネルギー利用率	15%以上	毎年	15%以上	15.9%	既設の水力発電設備、太陽光発電設備の活用	a				

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算		
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況
上水道事業				二酸化炭素 排出量削減 (H17年度比)	2,200t	毎年	2,200t	3,128t	H17年度比	a
				新たな再生可能 エネルギーの 調査・研究	実施	毎年	実施	実施	脱炭素化の局内ワーキング 4回実施	a
				3-1-4 省エネルギーの推進 5年間の事業費(計画) 421百万円			6百万円	0百万円		
				電力使用量	過去5年 平均以下	毎年	過去5年 平均以下	過去5年平均 より微増	設備の更新や能力の適正化 を実施	b
				二酸化炭素 排出量削減 (H17年度比)	3,000t/年	R7	2,600t/年	2,600t/年	穴生浄水場送水ポンプ更新	a
				新たな 省エネルギー対策 の調査・研究	実施	毎年	実施	実施	脱炭素化の局内ワーキング 4回実施	a
				3-1-5 資源の有効利用 5年間の事業費 22百万円			4百万円	3百万円		
				浄水汚泥の有効 利用	100%	毎年	100%	100%	汚泥の有効利用実施	a
				廃棄水道メーター の再資源化	100%	毎年	100%	100%	廃棄水道メーターの 再資源化	a
				7 健全な経営を行う						
				7-1 効率的・計画的な事業運営						
				7-1-1 上下水道施設の規模の最適化				1-1-2 再掲		
				7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新				1-1-1 再掲		
			7-2 多様な収入の確保							
			7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策 5年間の事業費(計画) -				-			
			水道水の利用促進 にかかるPRの 実施	推進	毎年	営業活動実施	推進	大口使用者特割制度の企業 へのPR・安価な料金につい てイベント等でのPRを実施 (イベント一部未実施)	b'	

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算		令和3年度 決算		
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
工業用水道事業											
1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる											
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新											
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新											
5年間の事業費(計画)				4,217百万円		756百万円		644百万円			
			浄水施設の 長寿命化	3箇所	R7	管理棟等の 長寿命化	管理棟等の 長寿命化 実施	本城管理棟などの長寿命化 工事を実施	a		
			工業用水道管路 の更新	4.3km	R7	1.3km更新	1.2km更新	工業用水道管路の更新	b		
1-3 震災対策の拡充・強化											
1-3-1 上下水道施設の耐震化											
1-1-1 再掲											
7 健全な経営を行う											
7-1 効率的・計画的な事業運営											
7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新											
1-1-1 再掲											
7-1-4 AIやICTを活用した業務の効率化											
5年間の事業費(計画)				-		-		-			
			スマート検針 システム運用	開始	R3	開始	開始	本格運用開始	a		
7-2 多様な収入の確保											
7-2-2 水道・工業用水道利用促進対策											
5年間の事業費(計画)				-		-		-			
			新規または増量 件数	5件	R7	1件	2件	PR活動の実施	a		
下水道事業											
1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる											
1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新											
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新											
5年間の事業費(計画)				20,834百万円		4,396百万円		3,721百万円			
			浄化センター・ ポンプ場設備の 計画的な 改築・更新	120設備 (24設備/年)	R7	24設備	24設備	改築・更新(電気・機械 設備機器)実施	a		
			下水道管渠の 点検調査	550km (110km/年)	R7	110km	99.4km	点検・調査(TVカメラ 調査等)実施	b		
			下水道管渠の 改築・更新	115km (23km/年)	R7	23km	13.5km	改築・更新(管更生 工事等)実施	b		

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算		令和3年度 決算				
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況			
下水道事業				1-1-2 上下水道施設の規模の最適化									
				5年間の事業費(計画)			7,992百万円		640百万円		10百万円		
				皇后崎・北湊 処理区の再編	再編完了	R7	着手	着手	下水道管の新設に係る実施 設計	a			
				皇后崎浄化 センターの再構築	3系統のうち 1系統の 集約化完了	R7	実施	実施	改築・更新(第二処理場・ 最初沈殿池)	a			
				中川通ポンプ場 の移転改築	工事着手	R7	実施	実施	都市計画決定・事業計画 変更	a			
				施設規模と機能 の最適化	新町・日明 処理区の 検討着手	R7	R4以降	R4以降	—				
				1-2 豪雨対策の拡充・強化									
				1-2-1 浸水被害の最小化									
				5年間の事業費(計画)			14,320百万円		1,760百万円 [2,740百万円]		3,704百万円		
				重点整備地区 (16地区)の うち9地区の整備	9地区 整備完了	R7	実施	実施	天籟寺地区の整備 昭和町地区の整備	a			
				1-2-2 上下水道施設の豪雨対策									
				5年間の事業費(計画)			—		0 [10百万円]		63百万円		
				耐水化計画の 策定	完了	R3	完了	完了	浸水リスクの高い下水道 施設を対象に策定	a			
				耐水化計画に 基づく浸水防止 設備の整備	実施	R7	R4以降	R4以降	—				
				1-3 震災対策の拡充・強化									
				1-3-1 上下水道施設の耐震化									
				5年間の事業費(計画)			11,150百万円		1,610百万円 [2,200百万円]		2,822百万円		
				重要な15ポンプ 場の耐震化率	73.3%	R7	20.0%	20.0%	則松ポンプ場等の耐震 補強工事実施	a			
重要な管渠の 耐震化率	50.7%	R7	47.8%	48.4%	重要な管渠の耐震化 (約7km) 実施	a							

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算			
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
下水道事業				1-4 危機管理体制の充実・強化							
				1-4-1 事故対応能力の向上							
				5年間の事業費(計画)			-	-	-		
				模擬事故訓練 (局全体)	1回	毎年	1回	1回	模擬事故訓練実施	a	
				模擬事故訓練 (下水道部)	1回	毎年	1回	1回	模擬事故訓練実施	a	
				危機管理研修 (下水道部)	1回	毎年	1回	1回	危機管理研修実施	a	
				1-4-2 民間事業者や他都市等との連携強化							
				5年間の事業費(計画)			-	-	-		
				地元民間事業者 との訓練	1回	毎年	1回	1回	地元民間事業者との訓練 実施 (設計コンサルタント等)	a	
				21大都市間情報 連絡訓練	1回	毎年	1回	1回	大都市間情報連絡訓練 実施 (21大都市参加)	a	
				被災を想定した 他都市との合同 訓練	1回	毎年	1回	0回	未実施	d'	
				1-4-4 災害時における機能確保の推進							
				5年間の事業費(計画)			50百万円	10百万円	15百万円		
				マンホールトイレ の整備 (累計)	1箇所/年 (累計11箇所)	R7	1箇所 (累計7箇所)	1箇所 (累計7箇所)	中央公園の整備	a	
				1-4-5 自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実							
5年間の事業費(計画)			125百万円	0 [110百万円]	222百万円						
内水浸水想定 区域図の拡充	完了	R7	実施	実施	内水浸水想定区域図の拡充	a					
出前講演による 周知	2件	毎年	2件	3件	浸水被害軽減のための出前 講演実施	a					

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算			
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
下水道事業	3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する									
	3-1 環境負荷に配慮した事業の推進									
	3-1-1 合流式下水道の改善推進									
	5年間の事業費(計画)					5,100百万円	1,900百万円	1,483百万円		
	合流改善達成率	100%	R5	84%	84%	分流化(日明・皇后崎処理区)、簡易処理の高度化(日明・皇后崎浄化センター)	a			
	3-1-2 水質監視強化									
	5年間の事業費(計画)					151百万円	29百万円	17百万円		
	浄化センターからの放流水質基準違反件数	0件	毎年	0件	0件	放流水中の有害物質・生活環境項目等の実態把握	a			
	工場等への立入検査	対象事業場等の半数(200件超)	毎年	対象事業場等の半数	202件	届出内容や水質管理状況について立入検査実施	a			
	工場等への水質検査	対象事業場等について2回以上(500件程度)	毎年	対象事業場等について2回以上	500件	事業場排水の水質検査実施	a			
	水質管理講習会実施	1回	毎年	1回	1回	法規制の周知、下水道の適切な利用に関する啓発実施	a			
	水質改善の調査・研究	1件	毎年	1件	2件	疑似嫌気好気法運転におけるりん除去とPHAの挙動について	a			
	3-1-3 再生可能エネルギーの活用									
	5年間の事業費(計画)					-	-	-		
	再生可能エネルギー利用率	3%以上	毎年	3%以上	2.87%	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用継続	b			
	二酸化炭素排出量削減	535t	毎年	535t	373t	消化ガス・太陽光・風力・小水力発電の活用による二酸化炭素排出量削減	b			
	新たな再生可能エネルギーの調査・研究	実施	毎年	実施	実施	脱炭素化の局内ワーキングを実施	a			
3-1-4 省エネルギーの推進										
5年間の事業費(計画)					50百万円	10百万円	2百万円			
ポンプ場照明設備のLED化(累計)	1箇所/年(累計6箇所)	R7	1箇所(累計2箇所)	1箇所(累計2箇所)	皇后崎浄化センター屋外照明LED化	a				

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	実施事業	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算			
				項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況	
下水道事業				二酸化炭素排出量削減	25t/年 (R2年度比)	R7	5t/年 (R2年度比)	6t/年 (R2年度比)	皇后崎浄化センター照明設備のLED化による二酸化炭素排出量削減	a	
				新たな省エネルギー対策の調査・研究	実施	毎年	実施	実施	脱炭素化の局内ワーキングを実施	a	
				3-1-5 資源の有効利用							
				5年間の事業費(計画)	3,539百万円		704百万円		677百万円		
				汚泥の有効利用率	100%	毎年	100%	100%	セメント原料化・汚泥燃料化等実施	a	
				3-2 環境負荷低減に向けた研究の推進							
				3-2-1 ウォータープラザ北九州の有効活用							
				5年間の事業費(計画)	22百万円		5百万円		4百万円		
				見学者の受入れ	200人以上	毎年	200人以上	0人	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた海外研修生受入れ未実施	d'	
				7 健全な経営を行う							
				7-1 効率的・計画的な事業運営							
				7-1-1 上下水道施設の規模の最適化						1-1-2 再掲	
			7-1-2 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新						1-1-1 再掲		
共通事業											
			4 国内外へ貢献していく								
			4-1 上下水道事業の発展的広域化								
			4-1-1 多様な広域連携の推進								
			5年間の事業費(計画)	74百万円		18百万円		14百万円			
			地区別勉強会、セミナー開催	1回以上	毎年	1回以上	4回	近隣自治体との勉強会、セミナーの開催	a		
			技術研修の受入れ	7回以上	毎年	7回以上	1回	近隣自治体職員の研修	d'		
			4-1-2 外郭団体等との連携強化								
			5年間の事業費(計画)	5,343百万円		1,104百万円		1,092百万円			
			宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託	継続	毎年	継続	継続	宗像地区事務組合(宗像市・福津市)の水道事業包括業務の受託継続	a		
			受託業務の拡大	3件	R7	1件	2件	北九州ウォーターサービスとの近隣自治体のニーズの共有、受注拡大への検討及び年次計画の検討	a		

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算		
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況
共通事業			4-2 本市の技術力・経験を生かした国際貢献						
			4-2-1 上下水道技術の国際協力						
			5年間の事業費(計画) 232百万円			57百万円	0.3百万円		
			研修員受入れ	380人	毎年	380人	28人	海外技術者育成に係る研修員受入れ	d'
			職員派遣	4人	毎年	4人	4人	国際技術協力に係る職員派遣	a
			4-2-2 海外水ビジネスの推進・支援						
			5年間の事業費(計画) 532百万円			113百万円	49百万円		
			市が関与する ビジネス案件数	6件	毎年	6件	6件	国際技術協力や企業の海外水ビジネス支援	a
			5 お客さまが求めるものをかたちにする						
			5-1 お客さまの理解と信頼を得る						
			5-1-1 効果的な広報・広聴活動の推進						
			5年間の事業費(計画) 243百万円			51百万円	19百万円		
			広報活動による お客さまの認知度	向上	R7	向上	向上	広報紙の発行、副読本のWeb化等	a
			広聴活動による お客さまニーズ の把握	推進	R7	推進	推進	ニーズ把握のため、Webアンケートを実施(回答者数:91名、回数 予定2回→実績:1回)	b
			5-1-2 小学生を対象とした上下水道に関する情報発信						
5年間の事業費(計画) 7百万円			2百万円	3百万円					
出前授業	各区1校	毎年	各区1校	各区1校	市内小学生を対象に体験型学習を実施	a			
5-2 お客さま満足度の向上									
5-2-1 営業業務の見直し									
5年間の事業費(計画) -			6百万円	0百万円					
ICT技術等を活用 した新たな施策の 調査・研究	推進	R7	口座振替イン ターネット 手続き	口座振替イン ターネット 手続き (延期)	口座振替インターネット 手続きについて、他局と導 入時期をあわせることとし たため、導入時期をR3→R4 に変更 5-2-2 再掲	b			
お客さまサービスの 評価向上	推進	R7	お客さま サービス向上	お客さま サービス向上	お客さまサービス向上の ために委託業務の管理・ 監督実施	a			
5-2-2 料金の支払や各種手続方法の拡充									
5年間の事業費(計画) 20百万円			6百万円	0百万円					
料金支払方法の 多様化、拡充	実施	R7	検討	検討	スマートフォン決済取扱 機関の拡充、納付書払い の電子マネー利用等に ついて検討	b			

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算					
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況			
共通事業			口座振替 インターネット 手続き	開始	R3	開始	延期	他局と導入時期をあわせる こととしたため、導入時期 をR3→R4に変更	b			
			5-2-3 上下水道事業に関するアンケート調査の実施と施策への反映			5年間の事業費(計画) 6百万円		0.5百万円	0.1百万円			
			アンケート調査を 踏まえたお客さま ニーズや課題への 的確な対応	実施	R7	調査方法検討	Webアンケー トの実施	上下水道モニターを 対象に、新たにWebでの アンケートを実施	a			
			6 培われた高い技術を未来へつなぐ									
			6-1 職員の育成と活用									
			6-1-1 上下水道技術の継承・人材の育成			5年間の事業費(計画) 148百万円		30百万円	7百万円			
			研修時間(延べ)	1万時間 以上	毎年	1万時間 以上	9,766時間	技術継承に取組むため、 オンライン研修含め、 局内研修や専門機関の 研修を幅広く実施	b'			
			職員の資格保有	1人平均 2つ以上	毎年	1人平均 2つ以上	2.5つ/人	局内研修等を通じて、職員 に資格取得を促進	a			
			インターンシップ 受入れ	3件以上	毎年	3件以上	0件	新型コロナウイルス感染 症の感染拡大防止のため、 インターンシップ受入れ 中止(ジョブナレーター業務 での学生受入れは、計7名)	d'			
			6-1-2 AI等を活用した技術の蓄積・継承の研究			5年間の事業費(計画) 101百万円		20百万円	1百万円			
			AI及びICTなどを 活用した技術の 蓄積・継承の取組	2件以上	R7	1件以上	1件着手	AIを活用した維持管理手法 の研究	b			
			6-1-3 上下水技術の国際協力					4-2-1 再掲				
			6-2 民間事業者等との連携推進									
			6-2-1 民間事業者等との連携推進			5年間の事業費(計画) -		R3事業費	0.2百万円			
			業務の効率化・ 運営体制検討	推進	R7	推進	実施	令和3年8月から、職員が 行っているボルドウォー ターの搬出・保管・配送等 の業務を委託化	a			
			北九州ウオーター サービスや民間 活力の活用	推進	R7	推進	推進	北九州ウオーターサービ スや民間事業者の活用に係 る検討	a			
			6-2-2 産学官連携による研究開発の推進			5年間の事業費(計画) 17百万円		3百万円	3百万円			
			新技術等の調査 研究	1件以上	毎年	1件以上	4件実施	民間企業等による実証実験 の支援	a			

中期経営計画実施事業 R3年度達成状況

[] は前年度2月補正を含んだ額

※事業費は再掲の数値あり

事業	将来像	重点施策	設定目標 (中期経営計画 最終目標)			令和3年度 予算	令和3年度 決算		
			項目	目標	目標 年度	単年度の 目標	単年度の 結果	取組内容	達成 状況
共通事業	7 健全な経営を行う								
	7-1 効率的・計画的な事業運営								
	7-1-3 民間事業者等との連携推進							6-2-1 再掲	
	7-1-4 AIやICTを活用した業務の効率化								
	5年間の事業費(計画) -					4百万円		59百万円	
		効率化の取組件数	5件以上	R7	3件	4件	①給水装置・排水設備事務の効率化(下水道台帳のWeb公開) ②工水のスマート検針による効率化 ③会議や研修の効率化(Web会議の導入・オンライン研修の活用) ④施設運転維持管理の効率化(設備台帳システム構築)	a	
	7-2 多様な収入の確保								
	7-2-1 資産の有効活用					(収入額)		(収入額)	
	5年間の収入額(計画) 538百万円					105百万円		157百万円	
		資産の利活用による収入	1億円以上	毎年	1億円以上	1億円以上	土地貸付等による収入の確保	a	
	7-2-3 多様な広域連携の推進							4-1-1 再掲	
	7-3 経営基盤強化に向けた検討								
	7-3-1 料金体系のあり方の検討								
	5年間の事業費(計画) -					-		-	
		料金体系の検討	実施	R7	実施	実施	直近の実績(R2決算)や予定(R4予算)を踏まえた検討実施	a	
	料金に関するアンケート調査	実施	R7	R7実施	R7実施	-			
7-3-2 外部検討会の開催									
5年間の事業費(計画) 9百万円					1百万円		0.3百万円		
	開催	2回	毎年	2回	2回	中期経営計画の進捗の報告(H28~R2実績、R3予算)	a		

2 令和3年度 財政計画の進捗管理

【上水道事業会計】

〈水道事業〉

- 収益的収支は、12.6億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.8億円のマイナス
(累積資金剰余(基金含む) 64.7億円)
- 企業債残高は、584.4億円

〈水道用水供給事業〉

- 収益的収支は、0.8億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.1億円の黒字
(累積資金剰余 0.3億円)
- 企業債残高は、35.1億円

【工業用水道事業会計】

- 収益的収支は、5.1億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.0億円のマイナス
(累積資金剰余 20.3億円)
- 企業債残高は、15.4億円

【下水道事業会計】

- 収益的収支は、6.9億円の黒字
- 単年度資金収支は、1.3億円のマイナス
(累積資金剰余 34.5億円)
- 企業債残高は、1,459.9億円

(単位：百万円)

	上水道事業			工業用 水道事業	下水道 事業	合計
	水道事業	水道用水 供給事業	小計			
収益的収入	19,516	817	20,333	1,970	27,258	49,560
料金(使用料)収入	15,251	721	15,972	1,739	14,650	32,361
収益的支出	18,258	740	18,998	1,463	26,566	47,028
収支差引	1,258	77	1,335	506	692	2,533
資本的収入	4,670	0	4,670	65	14,218	18,952
資本的支出	12,097	184	12,281	875	24,334	37,491
収支差引	▲7,427	▲184	▲7,611	▲810	▲10,117	▲18,538
補填財源	7,250	294	7,544	713	9,983	18,240
単年度資金収支	▲177	110	▲67	▲97	▲134	▲298
計画	▲623	99	▲525	▲182	▲338	▲1,044
計画比(決算-計画)	446	11	457	85	204	746
累積資金剰余	6,475	26	6,501	2,034	3,446	11,981
計画	6,009	2	6,011	1,909	3,218	11,139
計画比(決算-計画)	465	24	489	124	228	841
企業債残高	58,437	3,509	61,947	1,536	145,988	209,471
計画	59,555	3,509	63,064	1,841	146,432	211,338
計画比(決算-計画)	▲1,118	1	▲1,117	▲305	▲444	▲1,866

※水道事業の累積資金には、建設改良基金を含む

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計などは必ずしも一致しない。

(1) 水道事業

①総括表

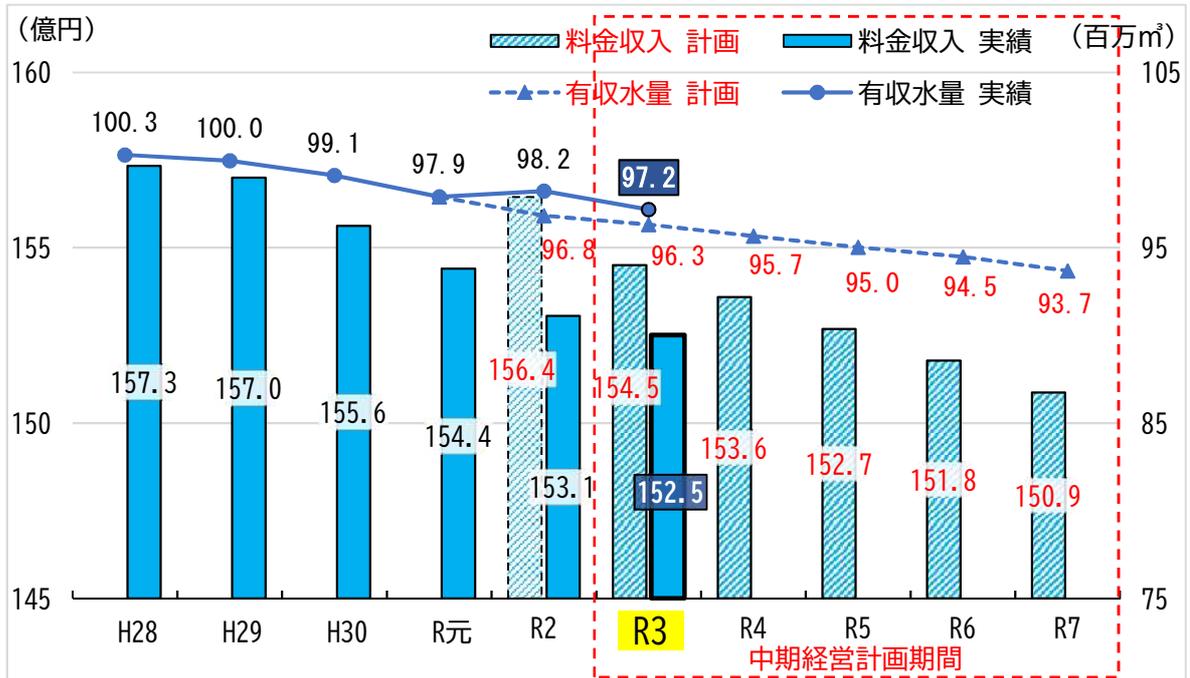
(単位：百万円、消費税込)

		R3年度計画 (A)	R3年度決算 (B)	計画比 (B-A)
配水量 (千 m^3 /年)		106,543	107,250	707
有収水量 (千 m^3 /年)		96,315	97,172	857
有収率 (%)		90.4	90.6	0.2
収益的 収支	収益的収入 ①	20,145	19,516	▲ 629
	料金収入 (原水除く)	15,450	15,251	▲ 199
	口径別納付金	451	378	▲ 73
	その他	4,244	3,887	▲ 357
	収益的支出 ②	19,354	18,258	▲ 1,096
	人件費	2,700	2,215	▲ 484
	維持管理費	3,221	2,969	▲ 252
	減価償却費等	8,135	8,408	273
	企業債利息	782	741	▲ 41
	その他	4,516	3,925	▲ 591
収支差引 ③=①-②		791	1,258	466
資本的 収支	資本的収入 ④	5,152	4,670	▲ 482
	企業債	3,350	3,400	50
	基金繰入金	1,000	1,000	0
	その他	802	270	▲ 532
	資本的支出 ⑤	13,761	12,097	▲ 1,664
	整備費	8,754	7,755	▲ 998
	企業債償還金	3,394	3,394	0
その他	1,613	947	▲ 666	
収支差引 ⑥=④-⑤		▲ 8,609	▲ 7,427	1,182
補填財源 ⑦		7,986	7,250	▲ 736
単年度資金収支 ⑧=⑥+⑦		▲ 623	▲ 177	446
累積資金剰余 ⑨		5,018	5,484	466
基金残高 ⑩		991	991	▲ 1
累積資金剰余 (基金含む) ⑪=⑨+⑩		6,009	6,475	465
企業債残高		59,555	58,437	▲ 1,118

※表中の数字は、四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と計などは、必ずしも一致しない。

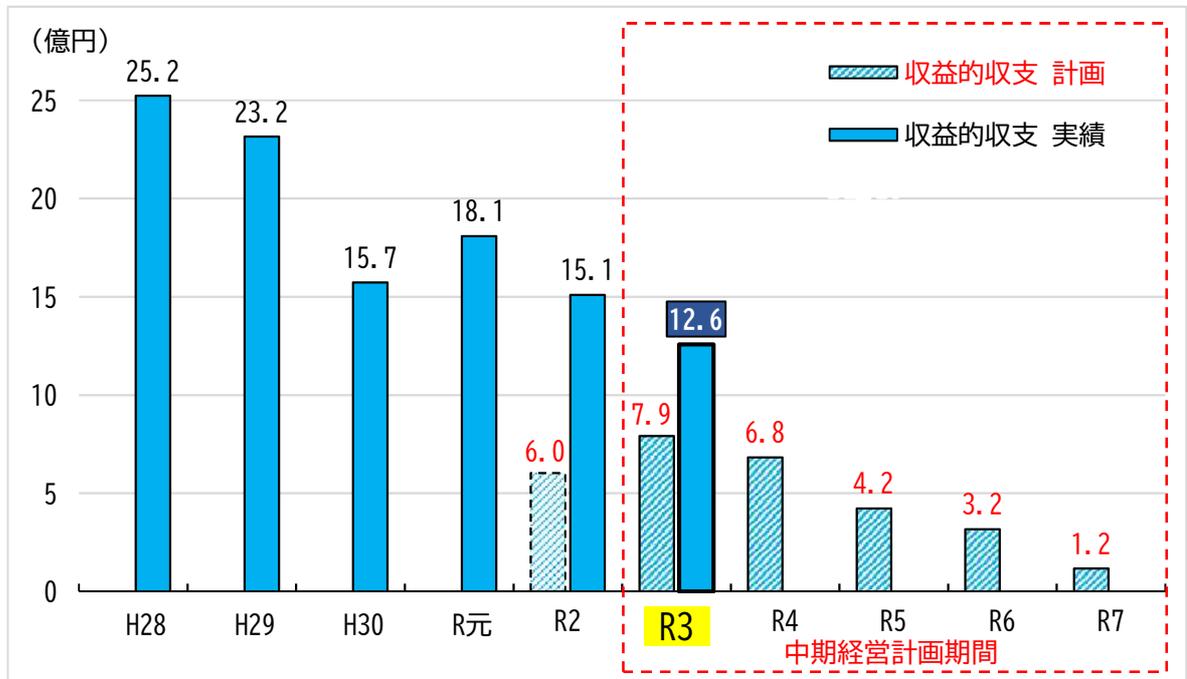
② 推移

【料金収入の推移】



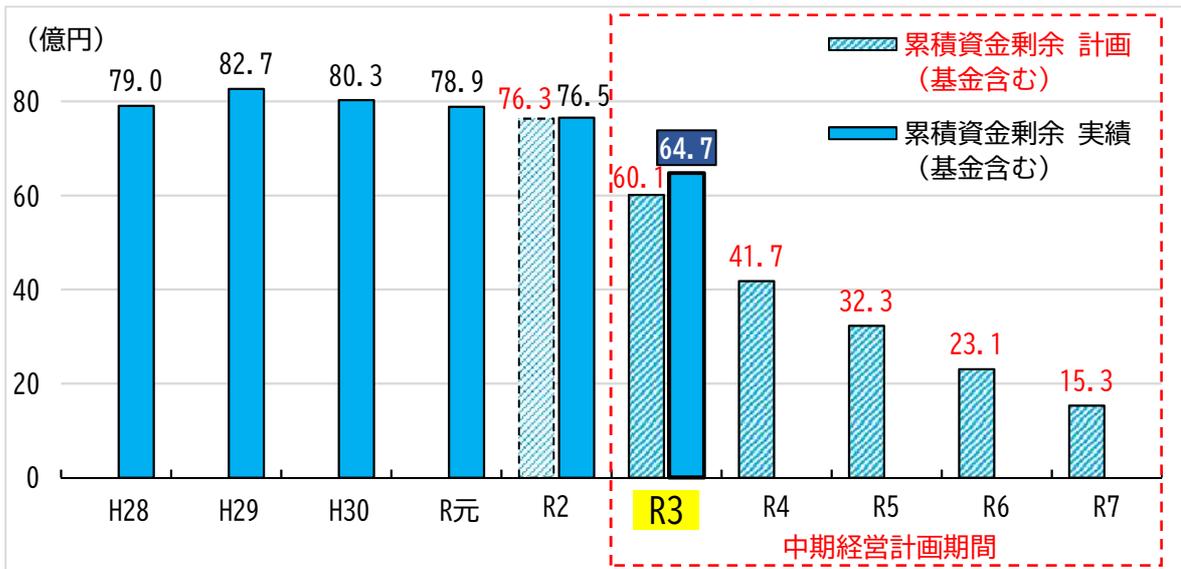
令和3年度の料金収入は、計画比▲2億円の152.5億円（前年比▲0.5億円）

【収益的収支の推移】



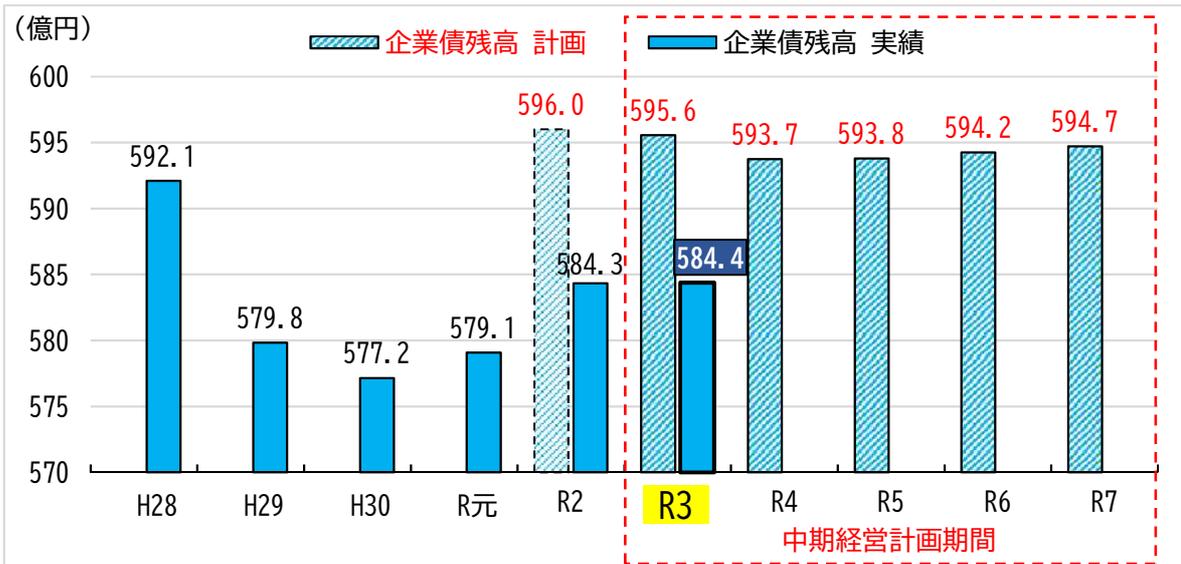
令和3年度の収益的収支は、計画比+4.7億円の12.6億円（前年比▲2.5億円）

【累積資金剰余（基金含む）の推移】



令和3年度末の建設改良基金も含んだ累積資金剰余は、計画比+4.6億円の64.7億円（前年比▲11.8億円）

【企業債残高の推移】



令和3年度末の企業債残高は、計画比▲11.2億円の584.4億円（前年比+0.1億円）

③総論

料金収入については計画値を下回ったものの、人件費や維持管理費などの支出も計画値を下回った結果、収益的収支・累積資金剰余共に計画値を上回った。

また、令和3年度の企業債の発行額と償還額は概ね計画値と同額であるが、令和2年度末の時点で企業債の残高が見込みを下回っていた結果、令和3年度末時点の企業債残高についても、計画値を下回る事となった。

(2) 水道用水供給事業

①総括表

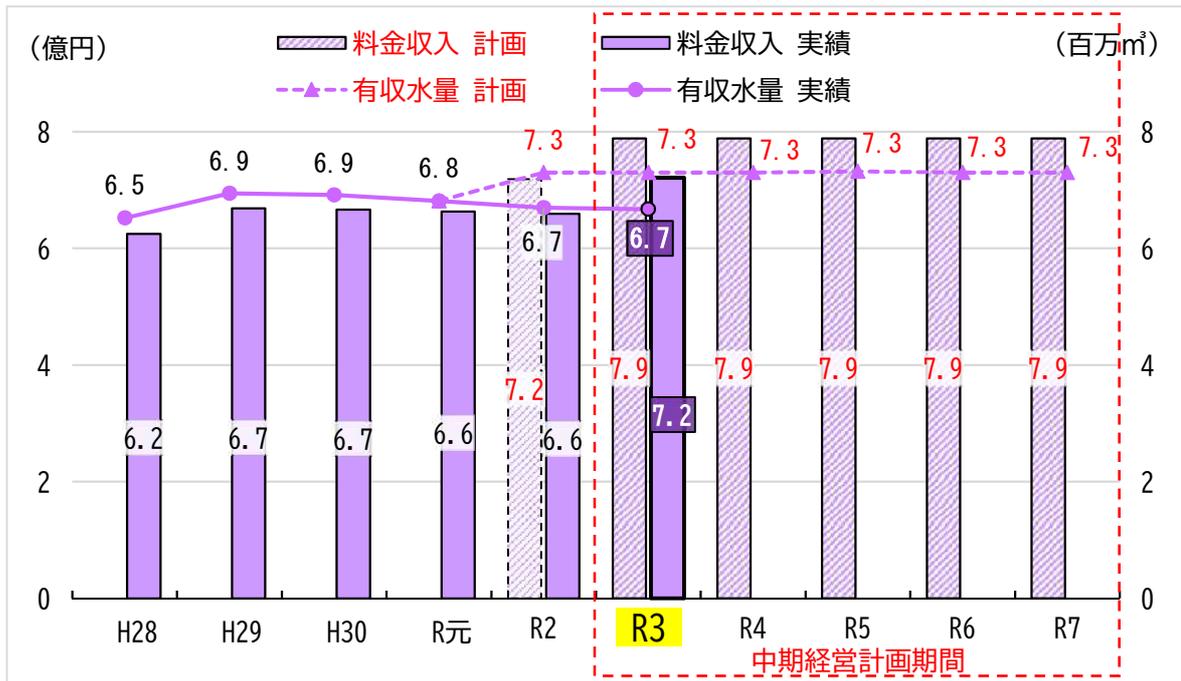
(単位：百万円、消費税込)

		R3年度計画 (A)	R3年度決算 (B)	計画比 (B-A)
有収水量 (千m ³ /年)		7,300	6,672	▲ 628
収益的 収支	収益的収入 ①	905	817	▲ 88
	料金収入	788	721	▲ 67
	その他	117	96	▲ 21
	収益的支出 ②	821	740	▲ 82
	人件費	62	44	▲ 18
	維持管理費	208	174	▲ 34
	減価償却費等	312	311	▲ 1
	企業債利息	73	72	▲ 1
その他	166	139	▲ 27	
収支差引 ③=①-②		84	77	▲ 6
資本的 収支	資本的収入 ④	20	0	▲ 20
	資本的支出 ⑤	227	184	▲ 43
	整備費	28	5	▲ 23
	企業債償還金	179	179	0
	その他	20	0	▲ 20
収支差引 ⑥=④-⑤		▲ 207	▲ 184	23
補填財源 ⑦		306	294	▲ 12
単年度資金収支 ⑧=⑥+⑦		99	110	11
累積資金剰余 ⑨		2	26	24
企業債残高		3,509	3,509	1

※表中の数字は、四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と計などは、必ずしも一致しない。

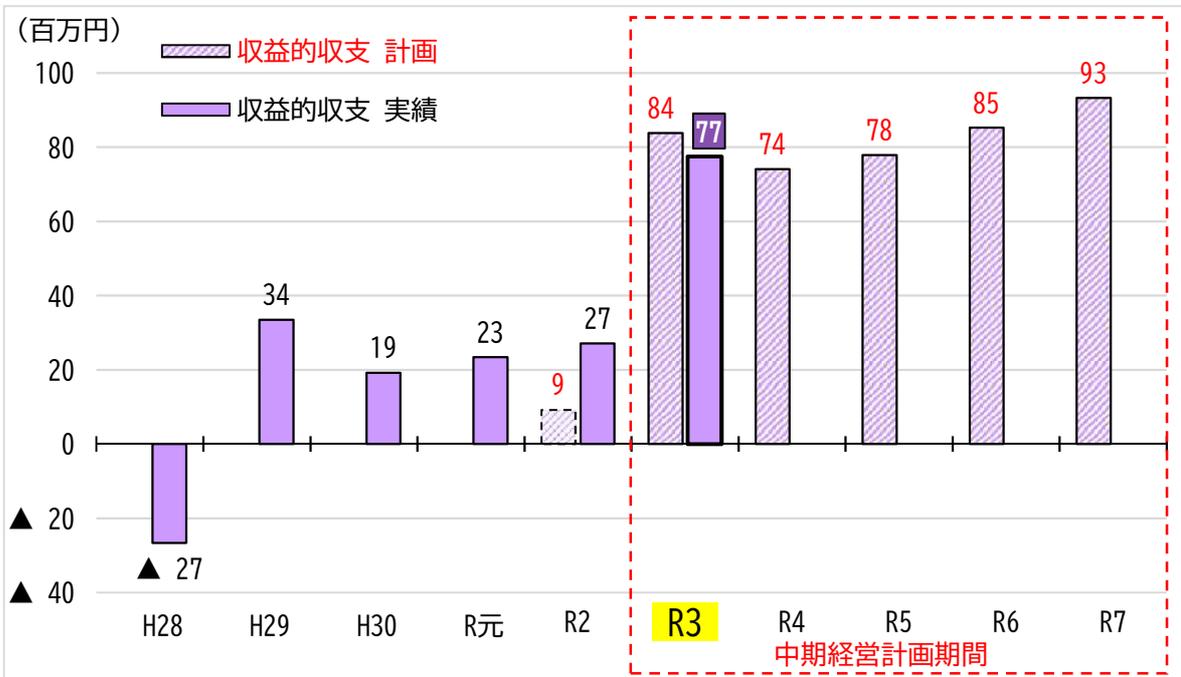
②推移

【料金収入の推移】



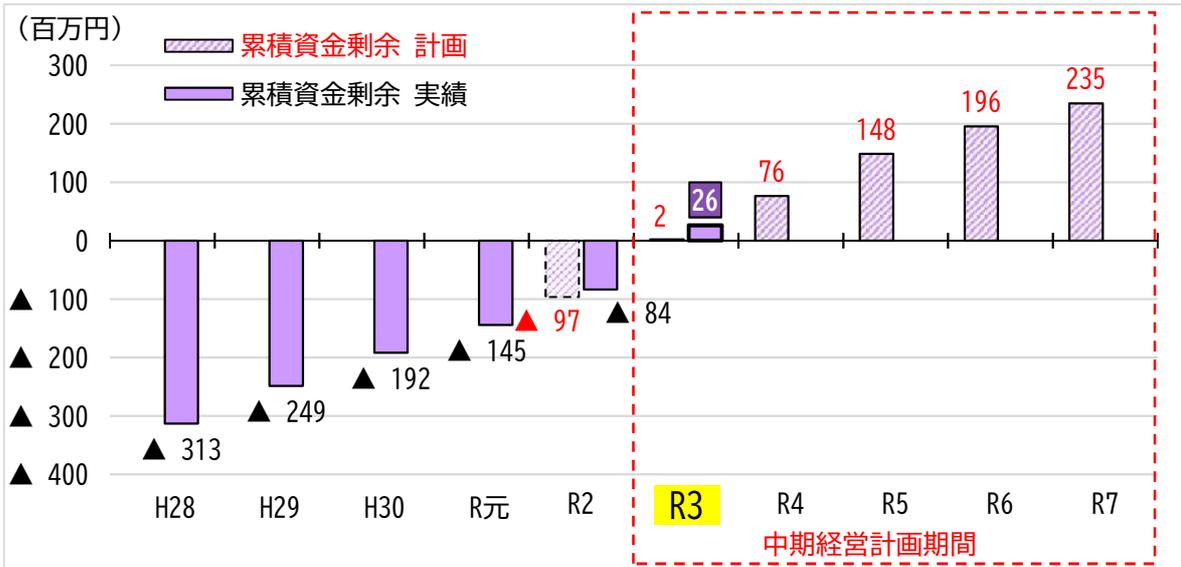
令和3年度の料金収入は、計画比▲0.7億円の7.2億円（前年比+0.6億円）

【収益的収支の推移】



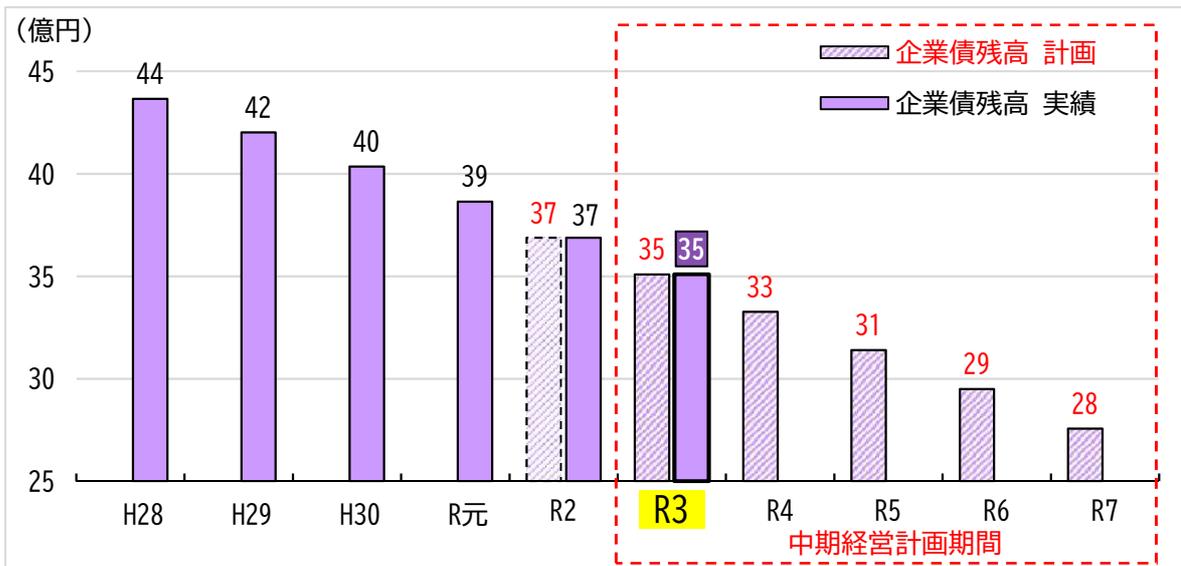
令和3年度の収益的収支は、計画比▲6百万円の77百万円（前年比+50百万円）

【累積資金剰余の推移】



令和3年度末の累積資金剰余は、計画比+24百万円の26百万円
(前年比+110百万円)

【企業債残高の推移】



令和3年度末の企業債残高は、計画と同額の35億円 (前年比▲2億円)

③総論

料金収入については計画値を下回ったものの、人件費や維持管理費、整備費などの支出も計画値を下回った結果、収益的収支については計画値と概ね同程度となり、累積資金剰余については計画値を上回ることとなった。

また、新規の企業債の発行がないこと、予定どおり企業債の償還を行っていることから、企業債残高については計画値と同額となった。

(3) 工業用水道事業

①総括表

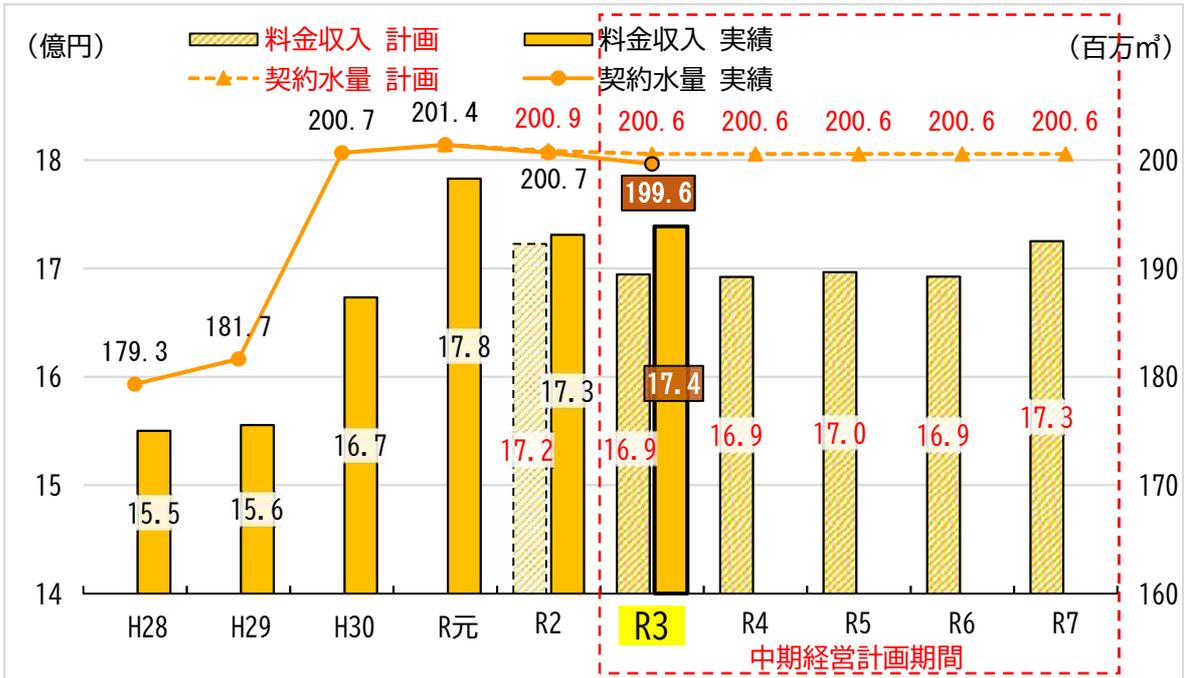
(単位：百万円、消費税込)

		R3年度計画 (A)	R3年度決算 (B)	計画比 (B-A)
契約水量 (千m ³ /日)		201	200	▲ 1
収益的 収支	収益的収入 ①	1,976	1,970	▲ 6
	料金収入	1,694	1,739	45
	その他	282	231	▲ 51
	収益的支出 ②	1,732	1,463	▲ 269
	人件費	240	180	▲ 60
	維持管理費	358	297	▲ 60
	減価償却費等	672	669	▲ 3
	企業債利息	27	23	▲ 3
その他	435	294	▲ 142	
収支差引 ③=①-②		244	506	262
資本的 収支	資本的収入 ④	284	65	▲ 219
	企業債	120	23	▲ 98
	国庫補助金	37	43	6
	その他	127	0	▲ 128
	資本的支出 ⑤	1,171	875	▲ 296
	整備費	821	679	▲ 142
	企業債償還金	160	160	0
	その他	190	36	▲ 153
収支差引 ⑥=④-⑤		▲ 887	▲ 810	76
補填財源 ⑦		705	713	9
単年度資金収支 ⑧=⑥+⑦		▲ 182	▲ 97	85
累積資金剰余 ⑨		1,909	2,034	124
企業債残高		1,841	1,536	▲ 305

※表中の数字は、四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と計などは、必ずしも一致しない。

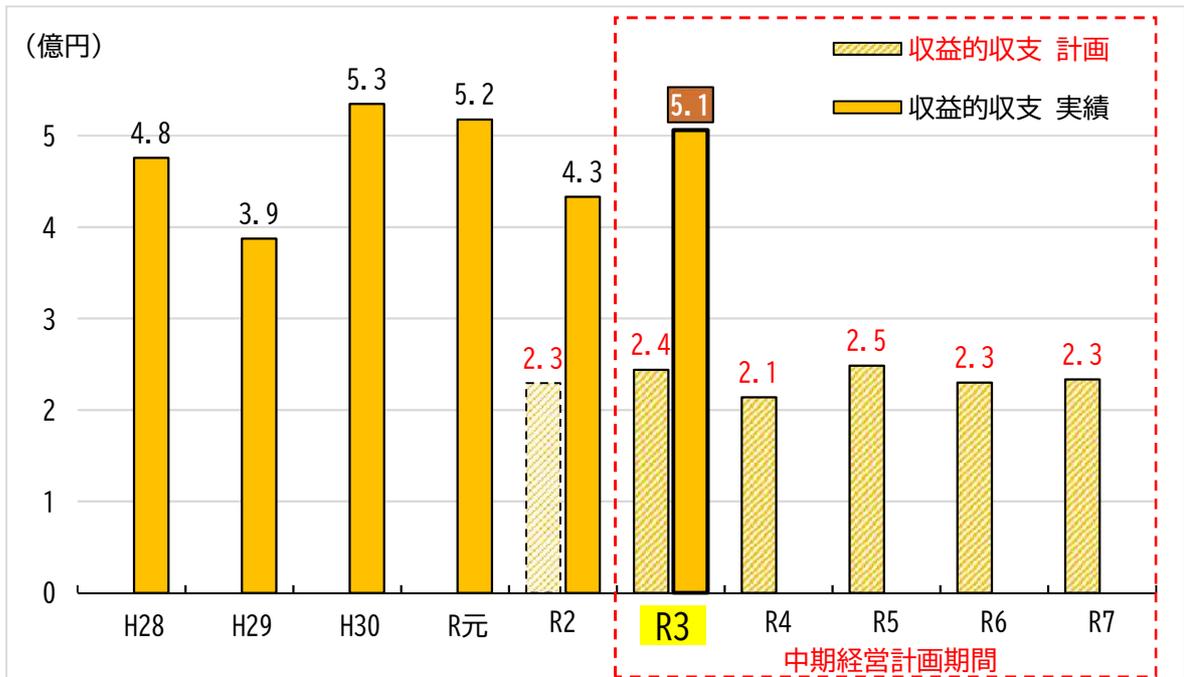
②推移

【料金収入の推移】



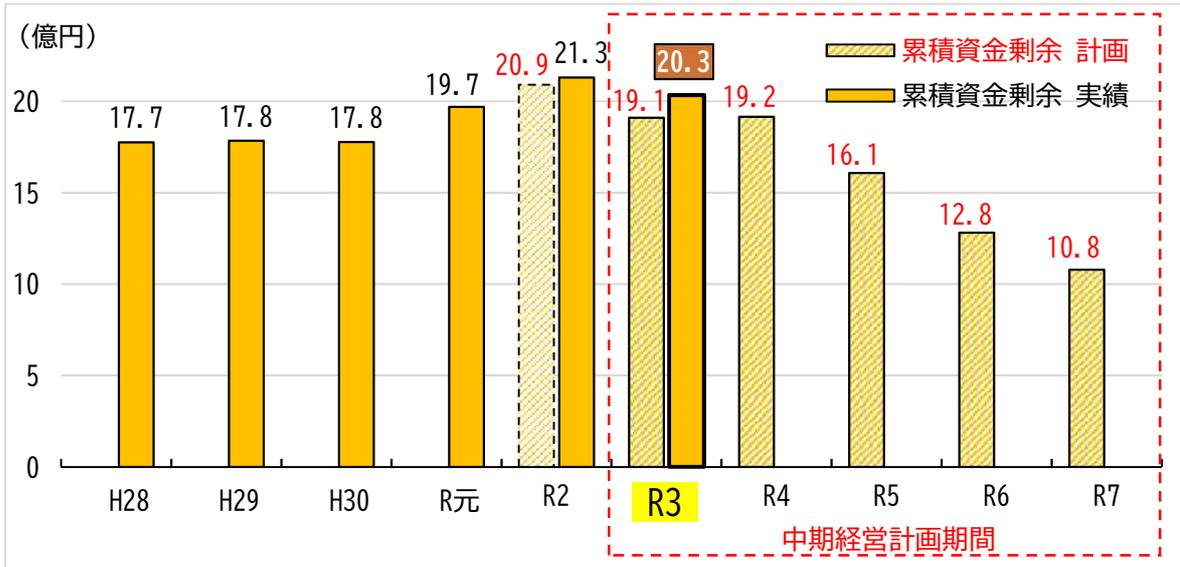
令和3年度の料金収入は、計画比+0.4億円の17.4億円（前年比+0.1億円）

【収益的収支の推移】



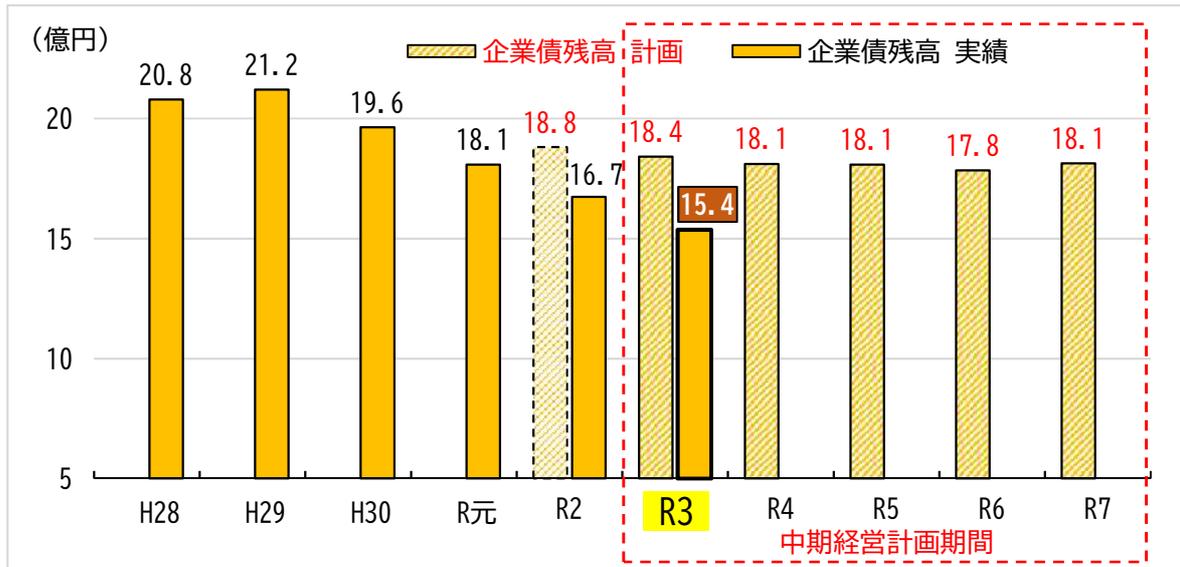
令和3年度の収益的収支は、計画比+2.6億円の5.1億円（前年比+0.7億円）

【累積資金剰余の推移】



令和3年度末の累積資金剰余は、計画比+1.2億円の20.3億円（前年比▲1億円）

【企業債残高の推移】



令和3年度末の企業債残高は、計画比▲3億円の15.4億円（前年比▲1.4億円）

③総論

料金収入が計画値を上回り、人件費や維持管理費などの支出が計画値を下回った結果、収益的収支・累積資金剰余共に計画値を上回った。

また、新規の企業債の発行額が計画値を下回ったことなどから、企業債残高についても計画値を下回ることとなった。

(3) 下水道事業

①総括表

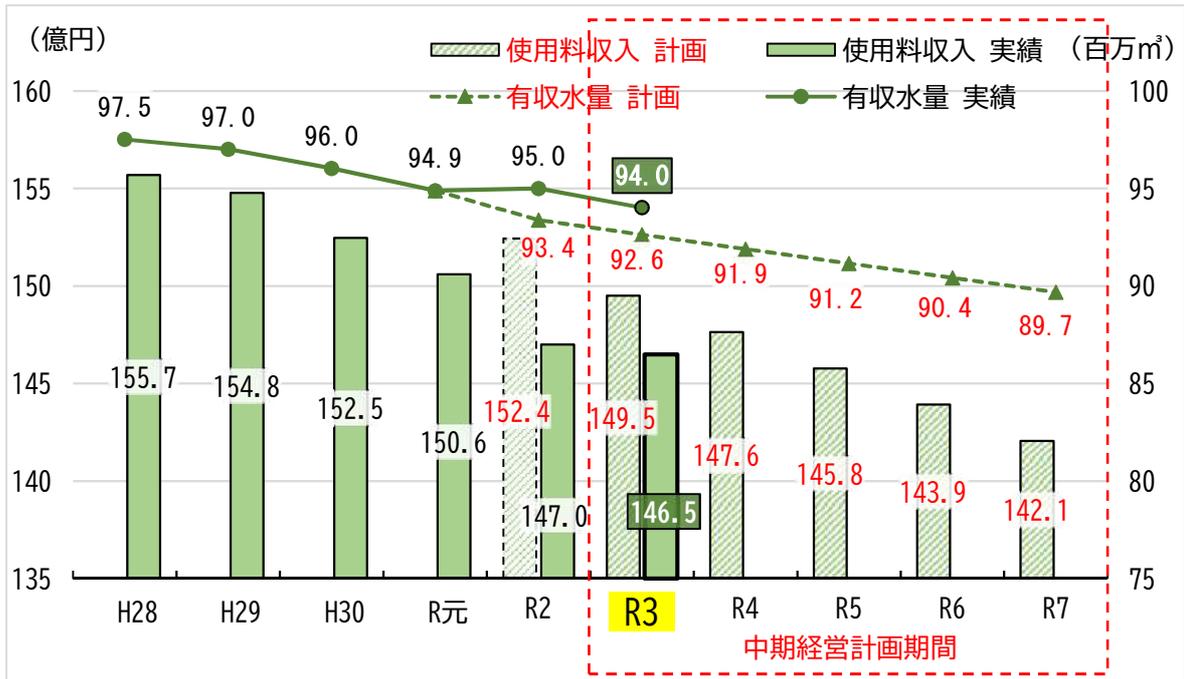
(単位：百万円、消費税込)

		R3年度計画 (A)	R3年度決算 (B)	計画比 (B-A)
有収水量 (千m ³ /年)		92,639	94,012	1,373
収益的 収支	収益的収入 ①	27,911	27,258	▲ 653
	下水道使用料収入	14,950	14,650	▲ 301
	一般会計繰入金	6,212	5,781	▲ 431
	その他	6,749	6,828	79
	収益的支出 ②	27,222	26,566	▲ 656
	人件費	1,102	870	▲ 233
	維持管理費	6,416	5,925	▲ 491
	減価償却費等	16,409	16,992	583
	企業債利息	1,778	1,639	▲ 139
	その他	1,517	1,140	▲ 376
収支差引 ③=①-②		689	692	3
資本的 収支	資本的収入 ④	13,533	14,218	685
	企業債	6,200	7,114	914
	国庫補助金	4,913	4,936	24
	その他	2,420	2,167	▲ 253
	資本的支出 ⑤	25,203	24,334	▲ 869
	整備費	12,180	12,275	95
	企業債償還金	9,063	9,063	0
	その他	3,960	2,996	▲ 964
収支差引 ⑥=④-⑤		▲ 11,670	▲ 10,117	1,553
補填財源 ⑦		11,333	9,983	▲ 1,350
単年度資金収支 ⑧=⑥+⑦		▲ 338	▲ 134	204
累積資金剰余 ⑨		3,218	3,446	228
企業債残高		146,432	145,988	▲ 444

※表中の数字は、四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と計などは、必ずしも一致しない。

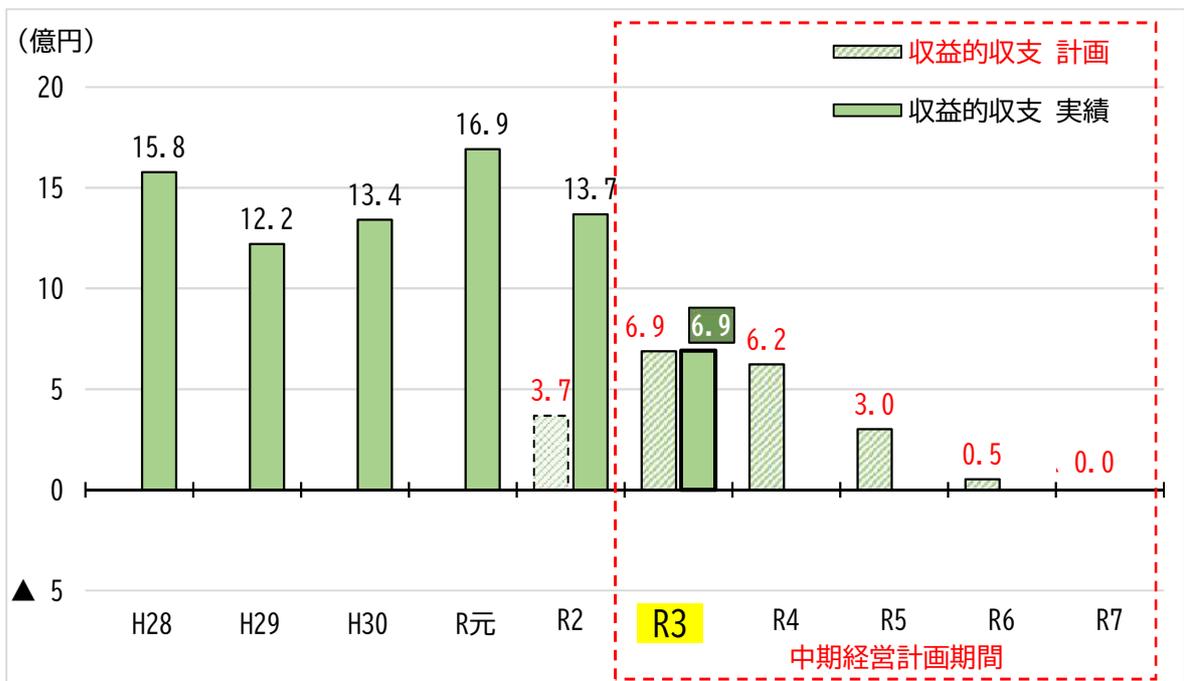
②推移

【使用料収入の推移】



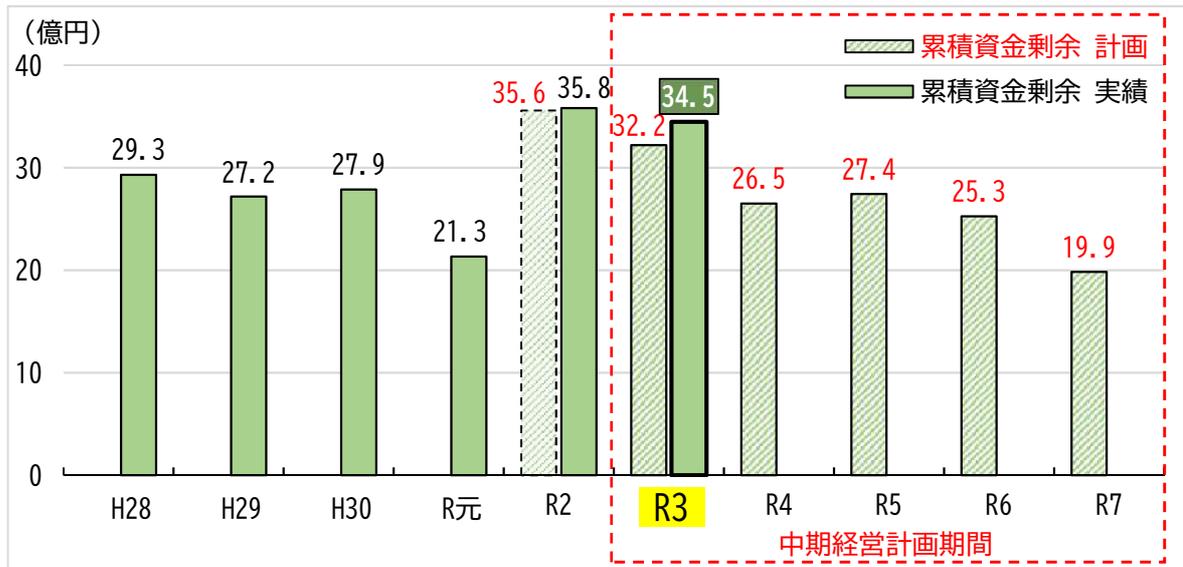
令和3年度の使用料収入は、計画比▲3億円の146.5億円（前年比▲0.5億円）

【収益的収支の推移】



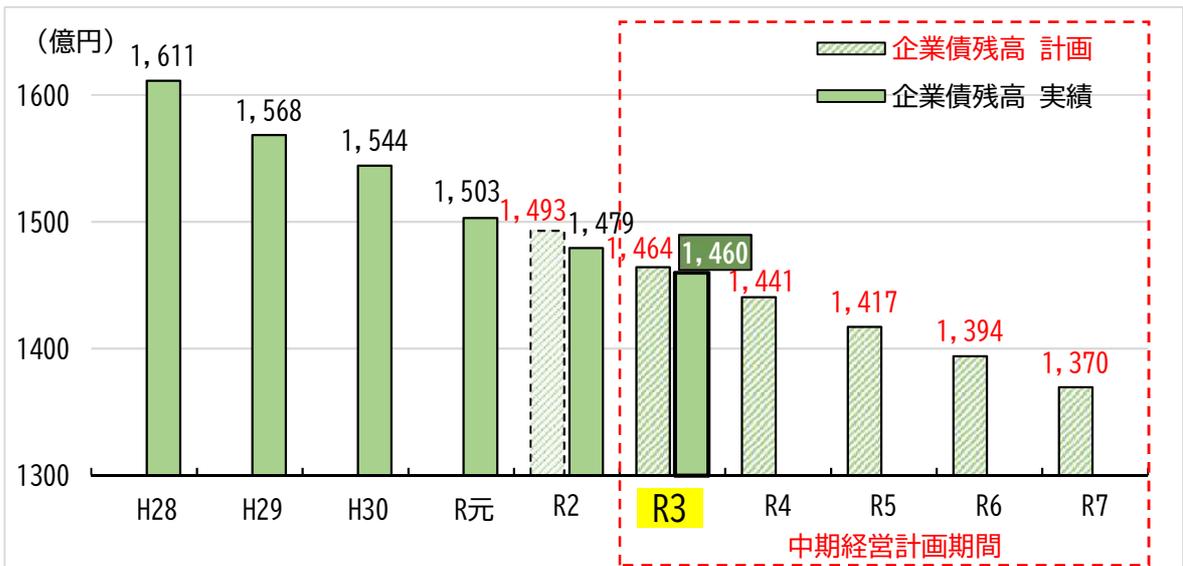
令和3年度の収益的収支は、計画と同額の6.9億円（前年比▲6.8億円）

【累積資金剰余の推移】



令和3年度末の累積資金剰余は、計画比+2.3億円の34.5億円
(前年比▲1.3億円)

【企業債残高の推移】



令和3年度末の企業債残高は、計画比▲4億円の1,460億円 (前年比▲19億円)

③総論

使用料収入は計画値を下回ったが、人件費や維持管理費などの支出も計画値を下回った結果、収益的収支は概ね計画値と同額となり、累積資金剰余は計画値を上回った。

また、令和3年度の企業債発行額は計画値以上となったが、令和2年度末の時点で企業債の残高が見込みを下回っていた結果、令和3年度末時点の企業債残高についても、計画値を下回ることとなった。